

# 愛媛同友会 新聞報道記事

## 「生きる力育む」手引書

### 県中小企業家同友会作成 キャリア教育を推進

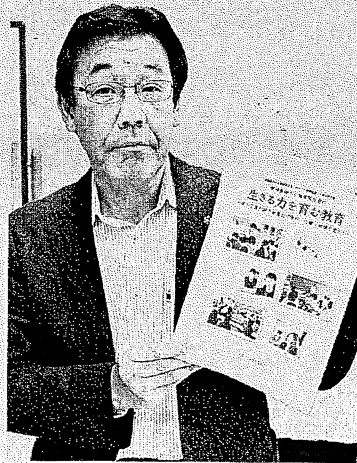
県内の中小・零細企業経営者ら約500人でつくる県中小企業家同友会は31日までに、キャリア教育推進に向けた手引書をまとめた。会員への啓発資料で、キャリア教育を地域社会に浸透させるための教材とする。

同友会は「仕事には人を成長させる教育力がある。中小企業の現

場を持つ教育力を学校や企業、地域により広く伝えるきっかけとしていたい」としている。同友会は1994年、中小企業団体では全国に先駆けて中学生向けの職場体験学習を開始した。生徒の受け入れを通じて「労働」の役割と「職場」が持つ教育力を実感し、プログラムを拡大。現在は小学生対象の出前講座や大学生のインターンシップ（就業体験）を実施し、愛媛大法文学部での提供講座など体系的な取り組みに広がっている。

約1年かけて編集した手引書では、20年の実践を振り返り、キャリア教育を「生きる力を育む教育」と定義。目的や課題などのほ

県中小企業家同友会がまとめた  
キャリア教育推進の手引書



か、出前授業や職場体験など各プログラムを実践するに当たっての狙いや具体的な作業内容を示した。

武田正晴・キャリア

教育担当理事（恭栄自動車代表取締役）は「手引書は地域で次世代を担う人材の育成や、中小企業の成長を支援するための一つの手段。

今後も実践を通して深話している。  
「化させていきたい」と

(門田龍二)